

第8回・日メコン経済大臣会合 共同声明（仮訳）

（2016年8月6日、ラオス（ビエンチャン））

1. 第8回・日メコン経済大臣会合（以下、会合）は、日本の片瀬経済産業審議官とラオスのケンマニ商務大臣との共同議長のもと、ラオス・ビエンチャンで2016年8月6日に開催され、他メコン各国の商務大臣や代表者、ERIA 事務総長が出席した。
2. ERIA は「Lao PDR at the Crossroads Industrial Development Strategies 2016-2030」として、内陸国というラオスの地勢的弱点を、各国をつなぐリンク拠点という強みに転換すべく産業戦略を練ることにより、更なる経済発展が可能であると提言し、実施に向け、今後ラオス政府のフォローアップにも力を入れていくと報告した。閣僚は、本提言及び報告を受け、ERIA の継続的なメコン支援を高く評価した。
3. 産業界代表は、第9回・日メコン産業政府対話の議論内容を報告し、閣僚は産業界からのインプットに感謝を示した。産業界からのインプットには、官民が協力のもと、①SEZ 開発など近隣諸国とのパートナーリングを通じた地域の競争力強化、②知財環境整備による R&D の推進や SME 強化などによる産業構造高度化、③人材育成、人の越境移動の自由化推進や、鉄道・港などのソフト・ハードインフラ開発を通じた連結性の強化が含まれる。
4. 閣僚は、今後の日メコン経済協力の軸となる「メコン産業開発ビジョン」を着実に進めるため、日メコン各国や関係機関の SME 支援や人材育成、ソフト・ハードインフラ開発などの具体的な協力事業を包括的にまとめた「ワークプログラム」を採択した。
5. 閣僚は、当ワーキンググループに対し、第9回日メコン経済大臣会合においてワークプログラムの改定に加え、PDCA メカニズムを活用したビジョンの進捗報告及び政策提言を行うことを指示した。
6. 閣僚は、今後、ワークプログラムの実施と、各国の主体的な取組及び CLMVT フォーラム等のメコンワイドの協力枠組みとの連携により、周辺国との「Specialization & Collaboration」を進め、ビジョンにて掲げた2020年までのGDP200億ドル押し上げを目指すことを確認した。また、閣僚は、ビジョン実現に向けたこれらの取組が第8回日メコン首脳会議にて報告されることを確認した。
7. 閣僚は、第9回日メコン経済大臣会合が、2017年フィリピンにて、第49回ASEAN 経済大臣会合に併催されることを確認した。

以上